

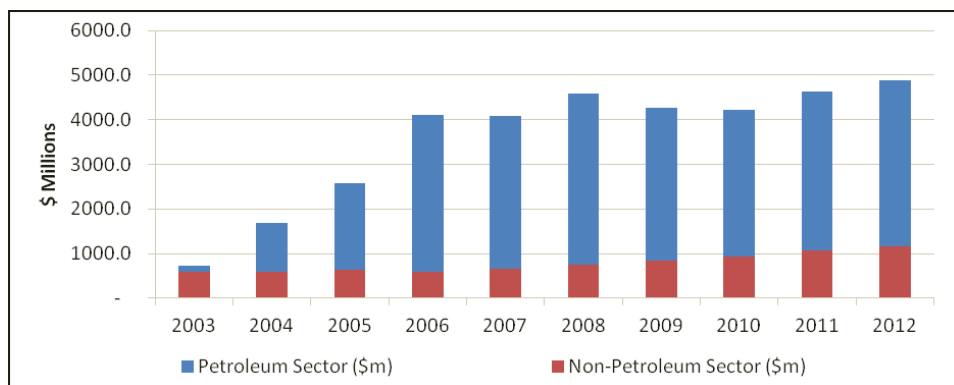
東ティモール経済・二国間経済関係概観

I マクロ経済の現状

1. 経済成長の動向

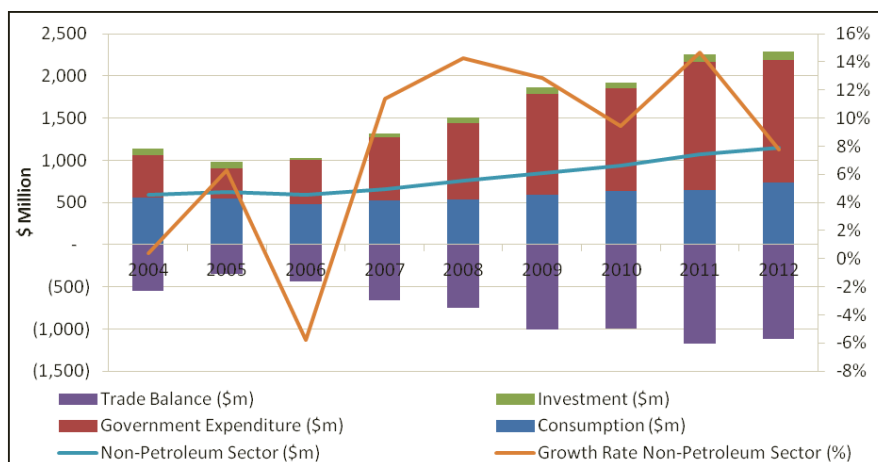
- ・2004年から天然ガス及び石油開発が本格化し、例年国家歳入の約9割を資源収入に依存する資源国。
- ・同採掘産業以外の輸出ではコーヒーが約9割を占めるモノカルチャー経済であり、脆弱性は高い。
- ・国内産業の多角化が課題であり、農業や観光業等の発展を目指している。
- ・近年は、採掘産業からの収入減少を考慮し、政府支出を持続可能な水準へと抑制する方針を取っていることで、2012年以降の成長は抑えられている。
- ・資源収入を管理・運用する石油基金(Petroleum Fund)を原資に、経済インフラ等の社会基盤整備及び人材育成に投資が行われている。

1-1 実質 GDP(資源及び非資源セクター)2003-2012



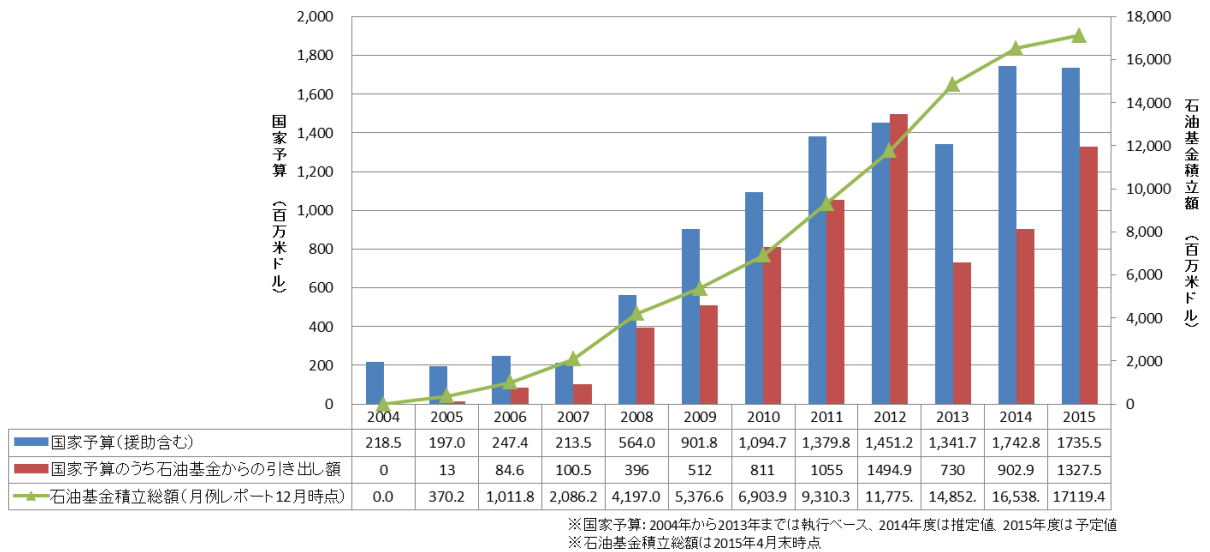
(出典:東ティモール財務省)

1-2 実質 GDP(非資源セクター)内訳 2004-2012



(出典:東ティモール財務省)

1-3 石油基金残高と国家予算



(出典: 東ティモール財務省、東ティモール中央銀行)

1-4 GDP, GNI 動向

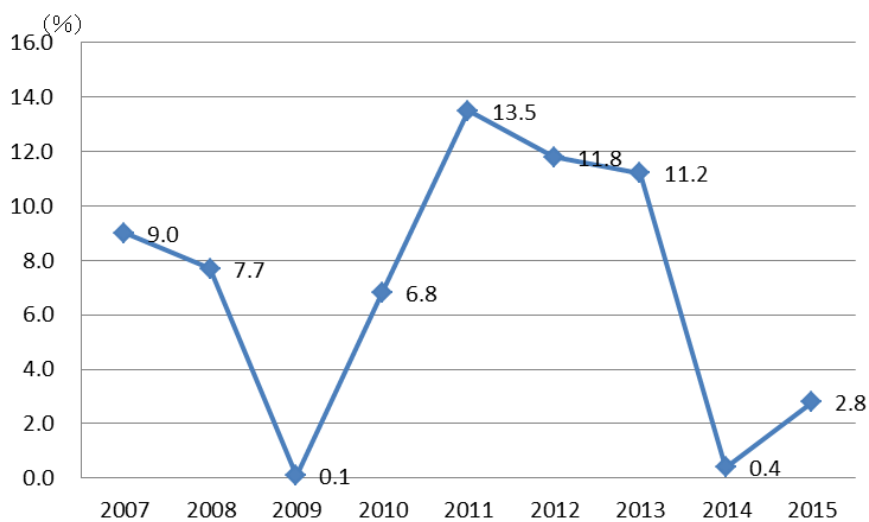
	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
国内総生産 (GDP) (全体) (million US\$)	4,090	4,583	4,275	4,216	4,631	4,890	4,161	4,190	
GDP成長率(全体) (%)	-0.6	12.1	-6.7	-1.4	9.8	5.6			
GDP (含: 資源収入) (million US\$)	3,428	3,827	3,422	3,281	3,559	3,735			
GDP成長率(含: 資源収入) (%)	-2.7	11.6	-10.6	-4.1	8.5	4.9			
一人当たりGDP (含: 資源収入) (US\$)				2,908		4,840			
GDP (除: 資源収入) (million US\$)	662	756	854	934	1,123	1,270	1,468	1,552	
GDP成長率(除: 資源収入) (%)	11.4	14.2	13.0	9.4	14.7	7.8	5.4	6.7	6.2
一人当たりGDP (除: 資源収入) (US\$)	550	672	780	876	1,002	1,105	1,244	1,280	
国民総所得 (GNI) (含: 資源収入) (million US\$)	1,885	3,116	2,475	3,194	4,569	4,529	5,019	3,783	
一人当たりGNI (含: 資源収入) (US\$)	1,850	3,010	2,370	3,000	4,080	3,940	4,250	3,120	

(出典: 東ティモール財務省、世界銀行、IMF)

2. 金融政策・インフレ動向

- ・自国通貨を持たず米ドルを採用しているため、独立した金融政策を採用することはできない。
- ・積極的な政府支出、世界的な食料品価格高騰等により2013年頃まではインフレが続いていたが、近年は落ち着きを見せている。

2-1 消費者物価指数(CPI)

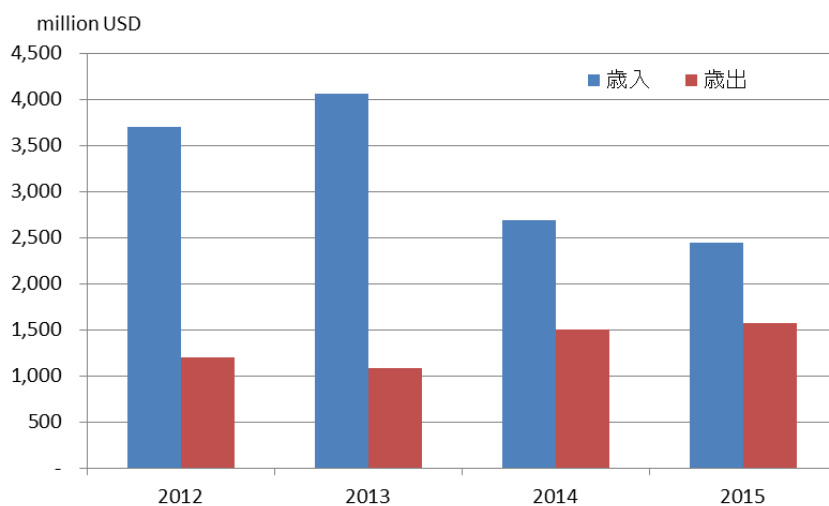


(出典:世界銀行)

3. 財政収支

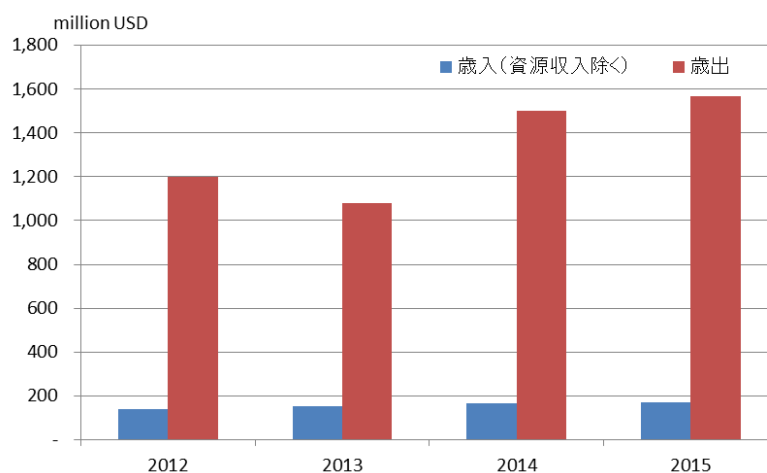
- ・ 税収は順調に増加しているものの、貿易赤字を補填するまでには至っていない。
- ・ 資源収入が減少傾向にある中、歳出を抑制するとともに、歳入増加のため民間セクター促進による税収の向上及び税収の多様化が目指されている。

3-1 財政収支



(出典: 東ティモール財務省)

3-2 財政収支(非資源セクター)

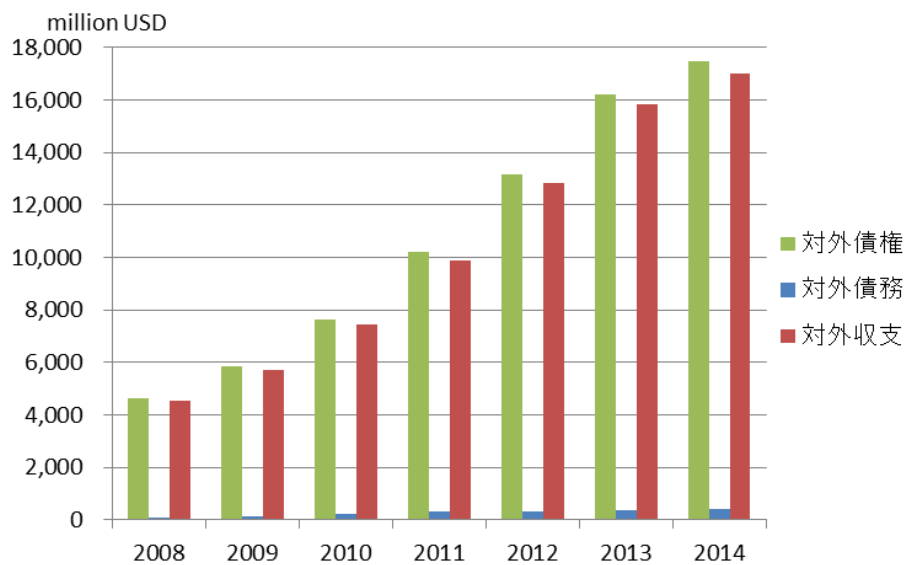


(出典: 東ティモール財務省)

4. 対外債務・債権収支

- ・独立から現在に至るまで、純債権国を維持している。
- ・2010年に初めて日本、ADB及び世界銀行との借款に署名した。

4-1 対外資産負債残高



(出典: 東ティモール中央銀行)

5. 国際収支

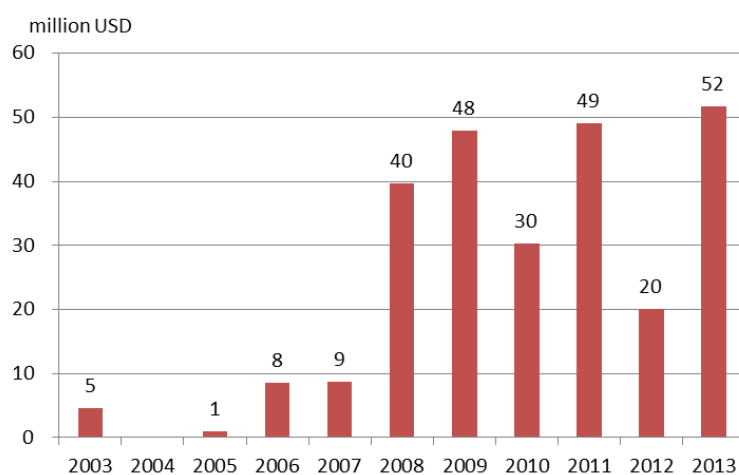
- ・資本財や食料品のほとんどを輸入に頼っており、資源収入を除いた貿易収支は恒常的に赤字となっている。
- ・外国直接投資の多くは、周辺国のインドネシア、豪州、シンガポール等からによるものであり、投資額は増加傾向にある。

5-1 経常収支

	million USD					
	2009	2010	2011	2012	2013	2014
経常経費	1,287	1,678	2,352	2,668	2,224	1,098
貿易収支	△ 320	△ 280	△ 373	△ 638	△ 676	△ 732
サービス収支	△ 774	△ 961	△ 1,385	△ 998	△ 581	△ 547
資源収入	1,692	2,338	3,461	3,960	3,070	2,199

(出典:IMF)

5-2 外国直接投資流入額

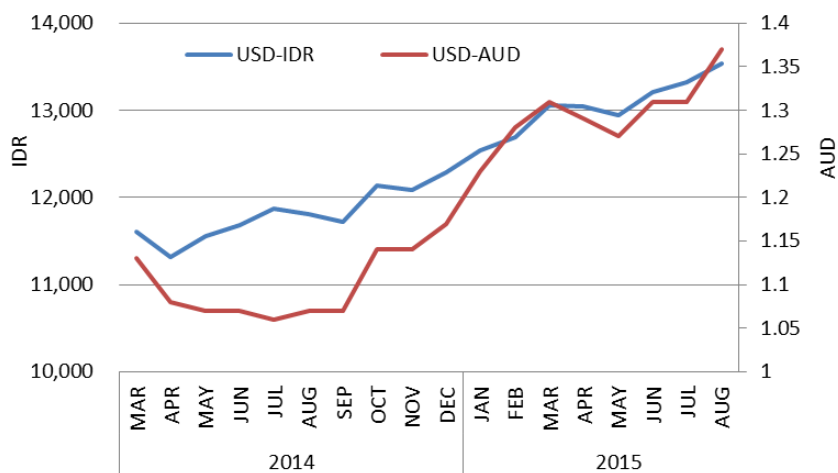


(出典:世界銀行)

6. 為替、外貨準備高

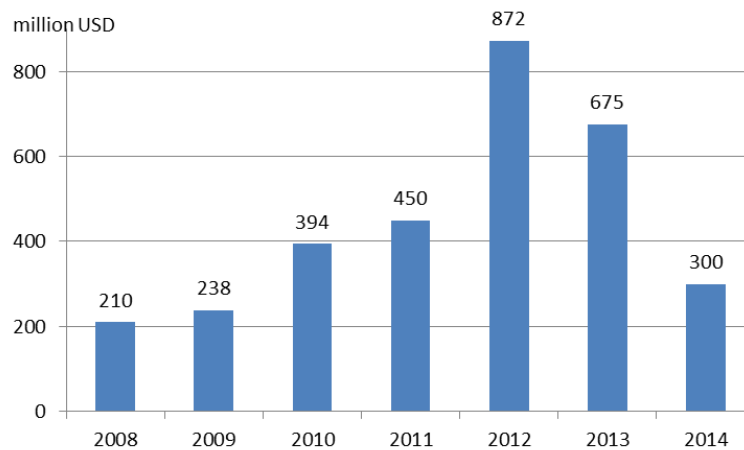
- ・米ドルが使用されており、金融システムは発展途上にある。
- ・米ドル高傾向が続いており、輸入過多の当国経済にとっては有利な状況が続いている。

6-1 為替(米ドル-インドネシア・ルピア/豪州ドル)



(出典:ブルームバーグ)

6-2 外貨準備高



(出典:東ティモール中央銀行)

7. 労働市場

- ・15歳未満の人口が全体の41%を占める。
- ・労働参画率が他国と比較しても低い水準にあり、特に女性の参画率の向上が今後の課題となっている。

7-1 労働市場概略

	男	女	計
全人口 (1)+(2)	600,400	577,900	1,178,300
(1) 生産年齢人口(15歳以上)(3)+(4)	353,600	342,600	696,200
(3) 労働力人口 (6)+(8)	140,300	72,900	213,200
(5) 労働参画率 (3)/(1)*100	39.70%	21.30%	30.60%
(6) 被雇用者数	124,500	65,300	189,800
(7) 生産年齢人口に占める被雇用者の割合(6)/(1)*100	35.20%	19.20%	27.30%
(8) 失業者数	15,800	7,600	23,400
(9) 失業率 (8)/(3)*100	11.30%	10.40%	11%
(4) 非労働力人口	213,300	269,700	483,000
(10) 潜在労働力人口	4,300	3,400	7,700
(11) その他非労働力人口			475,300
(12) 自給自足食糧生産者数			178,900
(2) 非生産年齢人口(0-14歳以下)	246,700	235,300	482,000
(13) 従属人口 指数	46.70%	46.30%	46.50%

(出典: 東ティモール雇用促進庁)

7-2 平均月収(2013年, USD)

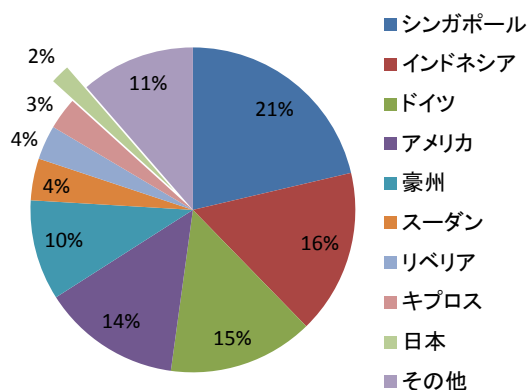
男	女	平均
553.4	461.2	530.8

(出典: 東ティモール雇用促進庁)

II 日・東ティモール貿易

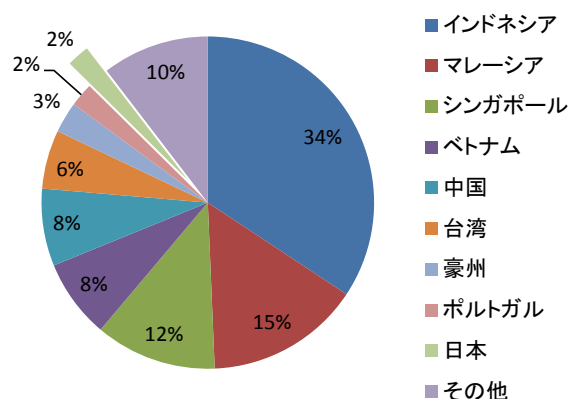
- ・日本は、東ティモールにとって第9位の輸入元であり、第9位の輸出先(再輸出を含む)である(2013年)。
- ・東ティモールから日本へのコーヒーの輸出は第3位で、全体の約6%を占める(2013年)。
- ・日本へは資源の輸出も積極的に行われている。
 液化天然ガス(LNG)：日本のLNG総輸入量の約3.4%(2013年)
 LPガス(LPG)：日本のLPG総輸入量の約2.5%(2014年)

II-1 東ティモールの輸出相手国(2013年)



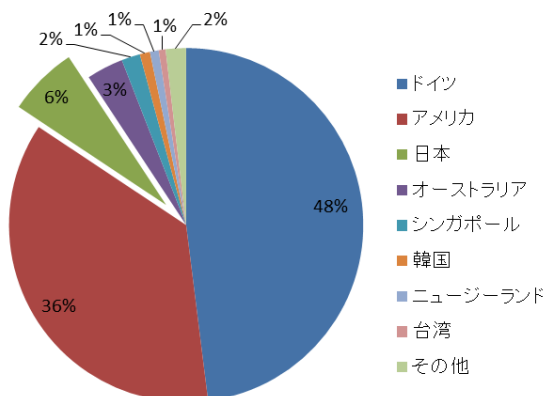
(出典:東ティモール財務省)

II-2 東ティモールの輸入相手国(2013年)



(出典:東ティモール財務省)

II-3 コーヒー輸出先(2013年)



(出典:東ティモール財務省)